

市民文芸

短歌 阿南市文化祭秋季短歌誌上大会 選

入選 小さな体くねらせ水を掻きてゆくゴール

ドメダルよ腕なき少女

棚野 久子

入選 われもこうすすきりんどうバケツの中で買

われるまでの秋をたのしむ

安本 生美

入選 火の鳥と呼ばれし女友は恋に落ち命を

絶って大空で舞う

荒瀬左知子

入選 雨風に提灯の火をかばひつつひとり迎へ

る二回目の盆

浅海 弥生

入選 月昇る銀河鉄道星の駅発車オーライ雲の

峰まで

神原 常経

入選 職引きて七年の我名札付け放課後クラブ

の子らに向き合う

亀島賀陽子

入選 いものつる溝をこえていっせいに胡瓜畑

をめざす真夏日

倉橋壽満子

入選 娘とその子帰り来る日を楽しみにつかま

り立ちして朝餉の用意

森田 道子

入選 四度目の爪切り終えてこれ以上癒ゆるこ

となき身と退院す

木内 照代

俳句 阿南市俳句連合会 選

金色の雲のきれ目や初日の出

米田 豊子

老いて尚三日坊主の初日記

奥田 蒼朗

冬の灯のひとは母の待つ明かり

金本ひろみ

今日も又烏一羽の冬田かな

吉崎 晶子

沼に映る雲のゆりかご鳩

浜田百合子

玄関に土付き野菜初荷かな

張本 雅宣

絵手紙のあふれんばかり福寿草

工藤千鶴子

玄関に生けし白梅匂い初む

富永 恵女

冬晴に心やさしき叔父送る

鳥海 勇二

年用意妻にまかせてしまいきり

藤崎 恵竹

川柳 阿南川柳会 選

弱みにせまる変身コロナ突き放せ

佐藤つたえ

ペット用ケーキ羨む子が4人

鈴木レイ子

老犬に説き伏せられて出る散歩

高木 旬笑

肩の荷を降ろし卒寿とお付き合い

田上 鶴子

飲む話すぐにまとまるいける口

滝川 太郎

ああ旨いこつちもいける辛口じゃ

多田紀久代

相槌を打つと弾んでくる会話

野村 敏子

素っぴんも鏡に見せるナルシスト

橋本 征介

一般応募

優しさと笑顔残して星になる

島尾美津子

八十路でも心の鮮度落ちぬよう

武田 敏子

漢詩 阿南漢詩研究会・青松吟社 選

梅を看る

井関喜久子

早春小徑看梅遊

早春の小徑 看梅の遊

林下隔溪香氣流

林下溪を隔て 香氣流る

玉樹氷輪兩三朶

玉樹の氷輪 兩三朶

横斜妬雪野橋頭

横斜雪を妬む 野橋の頭

探梅聞鶯

増喜 泰典

彩霞暖日綻梅英

彩霞暖日 梅英綻び

溪畔横斜照眼明

溪畔の横斜眼を照らして明らかなり

留客暗香催小飲

客を留む暗香 小飲を催し

隔花鳥語助詩情

花を隔つ鳥語 詩情を助く

新型コロナ第六波を憂う

市田 嘉則

萬千感染蓋寰中

万千の感染 寰中を蓋い

急擴倍增施策窮

急拡倍增 施策窮す

新藥完成傾國力

新藥の完成 国力を傾け

病原征服拂怔忡

病原征服して 怔忡を払わん

※寰中―世界

※怔忡―おそれやうれい



【グリーンアスパラ】

軽量野菜として栽培が増加しています。筍と同様、親木の下に生えて、定植した株で数年にわたり収穫。雨よけハウスで病気の発生や農薬の利用の抑制に取り組みながら、一年を通して管理作業をします。(出荷時期3月～11月)